

会議の概要

令和6年度 第4回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和6年9月18日（水）16:30～17:50

場 所：大玉中学校 体育館

（進行：大玉中学校教頭 星 雅人）

1 開 会

（1）開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

皆さん、こんにちは。これより令和6年度大玉中学校学校運営協議会並びに第4回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

（2）教育長あいさつ （大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘）

皆さん、こんにちは。本日は、第4回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）にお集まりいただきありがとうございます。

また、大玉中学校の教職員の皆さんには、準備や授業提供等ありがとうございました。

今回は、大玉中学校に特化した話し合いをしていただきますが、その根幹となるところは、すべての学校・園にとっても役立つものと思っております。

今回も教育委員の皆様や各学級担任の先生、学級委員長の生徒の皆さんにも残って、参加していただきます。そこまでして、せっかく実施する今日の話し合いですので、テーマである、「大玉村ならではの『楽しい学校』」をつくるため、皆様の積極的な意見交換をよろしくお願いいたします。



（3）おおたま学園CS委員会会長あいさつ （おおたま学園CS委員会会長 矢吹 吉信）

みなさん、改めましてこんにちは。本日はお忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。特に、大玉中学校の授業をされた先生方は今年度着任された方がほとんどということで、大変だったことと思います。本当にお疲れさまでした。私は、2年2組の数学科の授業を参観させていただきました。数学というと難しいというイメージなのですが、今日のような展開は分かりやすく、今後も積み重ねていただくことによって、子どもたちが数学を好きになって学力アップにつながると感じました。

また、本日は、生徒の皆さんにも参加いただきありがとうございます。私たちCS委員というのは、皆さんの応援団でもあります。今何か困っているとか、こんなことをすると学校はもっと楽しくなるとかいう意見を大人にぶつけてください。CS皆で応援していきたいと思いますので、遠慮せずに何でも言ってください。できることはすぐにやりますので…。

今日は限られた時間でございますので、慎重審議よろしくお願いします。



(4) 大玉中学校教職員自己紹介

… 本日参加した大玉中の教職員が自己紹介を行う。

2 協 議

(進行) それでは協議に移ります。時間は約1時間です。まず初めに、今回の協議のテーマについて校長より説明いたします。

(1) テーマについて (大玉中学校長 久保寺 徹)

令和6年度学校経営・運営ビジョンに目指す学校像として「楽しい学校」を掲げております。ただ「楽しい」と言っても感じ方は人それぞれですし、一方が楽しいと感じる反面、他方が違うのであれば、それは「楽しい学校」と言うことはできません。しかも単なる笑いだけで楽しさを感じたとしても、それを飽きずに継続することは難しいと思います。

そこで本日のグループ協議では、教員、生徒、地域の皆さん、それぞれの立場から考える「楽しい学校」(=「こんな学校だったら楽しいよね」)という意見やアイデアを出し合ってほしいと思います。ちなみに、「こんなことを言ったら先生に怒られる」、「ふざけないで」、「そんなのはありえない」等を考える必要は一切ありません。まずは、「こんなことをやってみたい」、「こんなのはどうかな?」ということをあげていただき、その後それらが実現可能かどうか、または、どうしたら実現できるか等を話し合っていいただければ幸いです。いろいろなアイデアが出ることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

(2) グループ協議のすすめ方について (大玉中教頭)

<議題について>

協議テーマ「大玉村ならではの『楽しい学校』をつくるには…」について、生徒や教職員、保護者や地域の方々のそれぞれの立場で意見を出し合い、お互いの思いを共有し、今後の学校教育活動の方向性を探る。

- ① 学校の教育活動(授業、家庭学習、部活動等)から
- ② 家庭や地域との関わりから
- ③ 幼小中の連携から
- ④ 施設や設備から

<協議の進め方>

ア 進行役を中心に、テーマに対して考えを出し合う。

- ・ 子どもたちの意見（黄付箋紙）
- ・ 地域・家庭（保護者）の意見（ピンク付箋紙）
- ・ 学校の意見（青付箋紙）

をそれぞれ書き出す。

イ KJ法でそれぞれの考えを共有し、共通している内容についてさらに考えを深める。

（３）グループ協議



（４）全体共有 ～各班の代表者による発表～

（進 行）グループ協議ありがとうございました。これから共有に移ります。一班2分弱ぐらいで発表していただければと思います。では、1班からお願いします。

1 班

- 「楽しい学校」というテーマで話し合いを始めたが、中学生の K 君から、「楽しい学校をつくるためには人間関係づくりが大切ではないか」と言う意見が出て、そこからスタートした。
- 縦割りの行事をつくったり、縦割りで授業をしたりする等、学年を越えた関わりをもつ。
- 農業体験について
 - ・ 大玉村と言えばお米が有名だが、（米作りを）実際に体験したことがない中学生が結構いるのが現状。
 - ・ 大玉中の田んぼを作ってみんなで育てるのはどうか。
 - ・ アグリ部 … 農業体験できるような部活を特設でつくる。
- 勉強以外のイベントを設ける。
 - ・ 季節のイベントを取り入れてみる。

- ・ 私服で登校する日をつくる。
- 地域との交流を今まで以上にやってみる。
- 相談しやすい環境づくり … 学校だと相談しにくい、知らない人だからこそ話しやすいということもある。

2 班

- 2班では、地域との連携ということで話し合った。
- 学校祭（あだたら祭）やふれあいフェスタに一般の村民にも参加してもらうようにする。防災無線で呼びかけをして広めていく。
- （1班と同じように）季節の行事を通して地域交流を図っていきたい。＜例 虫取り、天体観測等＞
- 生徒も「こんなことしたらいいのではないか」という意見を出す場面もあるのだが、教職員の検討の段階で止まってしまうことが多いのが現状である。生徒から出てきた意見を学校の中で公表することによって、「みんなに聞いてもらっている」、「みんなに考えてもらっている」ということを生徒に伝え認識させるようにする。そうすることで、さらにフランクに生徒から意見が出てくるようになるのではないかと。教職員の意識を変えていくことも大切。



3 班

- 生徒から「今の学校が一番楽しい」という言葉がありうれしく感じた。
- 大玉中はイベントが盛り上がっているような雰囲気がある。また、他地域の学校と比べて、先生や地域・保護者の方々との距離が近い感じがする。ふれあいも多いのではないかと。
- 大玉中としてやれること … 農業部（アグリ部）をつくって、大玉の地域の特性を生かしたことをする必要がある。
- 学校のトイレについて … 比較的きれいではあるが、生徒は、「もっときれいにしたい」、「少し臭いがするところもあるので改善したい」等思っている。
- 子どものリラックスタイムをつくる → 「学校に行きたい」、「楽しい」とより感じられるのではないかと。
- 今より地域の方々が学校運営に参加しやすいようにする。
 - ・ 地域で希望する方がこの会議（学校運営協議会）に参加できるようにすることで、意見や考えの共有を図って、より高い達成感を得ることができるのではないかと。



4 班

- 大玉中ならではのもの
 - ・ 地域とのつながりが強いこと
 - ・ 地域の方々に助けていただいて学校が成り立っていること
- 現状学校行事はたくさんあるのだが、単発で終わるのではなくて、そこでできたつながりを次の行事に生かしたり、学校生活や地域での生活に生かしたりできるようにしていきたい。
 - ・ 学校での合宿 … 学校に寝泊まりして勉強や肝試し体験等をする。食事は地域の方にお世話になる。
 - ・ 改善センター等地域の施設はいろいろあるので、そういった所を利用して小中連携の行事や授業をする。
- 校則の見直し
 - ・ 校則を守ることは大事である。ただ、生徒自身の多様性や自分らしさを出せるようにするためにも見直しが必要ではないか。(髪型、靴の色等)

5 班

- 「地域とつながる体験が大事」という意見が出された。(気持ちもつながる)
 - ・ 小学生と部活動に参加している中学生とを一緒にして共に体験すること
 - ・ 中学生と幼稚園児と一緒に英語を学ぶこと (英語も小学生からではなく、幼稚園から始めた方がいいのではないか)
- 交流体験
 - ・ アイディアを生かして独自の商品を作る。
 - ・ 地元の伝統料理をいただいて、それを次につなげる (例 昔あった芋煮会)
 - ・ 地域のお年寄りの方々は交流を持ちたいと思っているのだが、「今の中学生は忙しいから」と気を遣ってなかなか声をかけられないでいるという話を聞いた。伝統料理を知るためにも連携していきたい。
- みんなで作る体験を
 - ・ 稲刈り体験だけでなく、米作りの様々な段階の作業や活動を知り、実際にその大変さを知りながら学べるとよい。農業の大変さを理解させたい。
- 村内でお話ができる方に語りを依頼し、校内放送で流す。
- C S委員会に希望制で参加できるようにする。



6 班

- 一日で最も長い時間である授業が分かる・できること、また、放課後の部活動で活躍できる場を設定することが大切である。
- 例えば、「大玉村の給食はおいしい」ということをきっかけに、地元の米、野菜、水等がおいしいことをより知るために地域の学習を進める → 恵まれた地域に住んでいるということが分かって、楽しい学校だなと感じるのではないか。

- 基本的な生活習慣として、挨拶が当たり前でできるとか、けじめのある中で楽しい学校であるとか、ルールや人への思いやりがあるとか、そういうことが当たり前になることによって、楽しい学校につながっていくのではないかな。
- 正しいことを教える人間がばかをみないような、そういった生活スタイルも大切である。

7 班

- 中体連の結果や学習面の結果を残すこと。生徒たちは、結果を残すことで学校が楽しいと思うようになるのではないかなということから考え、話し合った。
- 学校の教育活動は、施設面であったり、スクールバスであったり、部活動を支えてくださる地域・保護者の方々の力があるからこそ成り立っている。保護者同士がさらに協力し合っているいろいろなバックアップしていく体制をつくっていくことも大事なのではないかな。
- 部活動の地域移行をおおたま学園でできたらとてもいい。
- 幼小中の連携について
 - ・ 生徒が幼稚園や小学校の頃の姿について、幼・小の先生方と懇談会の形でいろいろと話し合えるととても有意義である。
- 意見（付箋）のグループ分けは「学校」、「家庭・地域」、「幼小中連携」、「施設・設備」となったが、これらを一体的に進めていくことによって中学生は結果を残せ、楽しいと言える学校になるのではないかな。



8 班

- 小中連携の一環として、小学生の部活動指導を中学生がティーチャーになって行う機会をつくる。部活動に入る一つの材料になるのではないかな。
- 様々な行事の現代化を進めていくこと
 - ・ 例えば、休み時間等に生徒がリラックスできるよう音楽を流す。
 - ・ ふれあいフェスタの内容にEスポーツや全員が逃走するような鬼ごっこのようなものを作って、地域・生徒・教師が全員で楽しめるようなものにする。
- 食育について
 - ・ 生徒が食べたい給食メニューをリクエストし、村の施設等で作ってもらい、それを給食に換える。年間を通して計画的に行うとそれも一つの刺激になるし、自分たちで考えたということで残さず食べると思うのでSDGsにつながる。生徒会活動を生かして取り組んでみるとよい。

（進 行）どうもありがとうございました。8つの班の内容ですが、共通しているところもありましたし、これは（すぐに）できるのではないかなという内容もあったと思います。また、課題もあったかなとも思いました。各班で貴重な生のご意見を出していただきましてありがとうございました。以上で協議を終了いたします。

3 閉 会

(1) 講 評

(おおたま学園CS委員会会長)

みなさん、お疲れさまでした。講評とありますが、お礼の言葉を述べさせていただきたいと思います。生徒の皆さん、遅くまで本当にありがとうございました。そして、熱い議論をありがとうございました。

「目からうろこ」という言葉がありますが、私個人としては、「おいしいものを食べてもらえばいいかな」、「芋煮会をやればいいかな」と思い付箋に記入しようとしたのですが、協議の前に中学生のK君の「人それぞれ個人でありますよね。やっぱり人間関係なんですよ。」という話を聞いてはっとさせられました。そして、最初にそういう言葉をもらったことによって、その後の議論は熱いものになりました。通常の大玉村だけのCS委員会ではそういう方向にはいかないことが多いのですが、やはり大玉村の教育があって、こういう協議会ができるんだと、改めて大玉村って素晴らしいなと感じました。

先生方、今日はありがとうございました。皆さん気をつけてお帰りください。

(2) 御礼のことは

(大玉中学校長)

皆さん、今日は遅い時間まで本当にありがとうございました。

今日の協議の内容を聞いておりますと、「地域と共に」という声がたくさん出てきたと感じました。私たち教員はいろんな学校を見てきています。大玉村ほど地域と共にある学校というのはそうはありませんし、こんなに地域と近い、地域とつながりのある学校は他にはないと思います。今、他の学校が少しずつ取り組みをし始めているところで、大玉村の大玉中学校のこのCS委員会をモデルにして、県内各地でやろうとしています。

でも、そんな中でも「まだまだ足りない」という意見が今日のこの議論の中で出されていました。しかも、中学生も参加して、地域の皆さんと共にいろいろ考えたり、意見を述べさせていただいたりしたことについて、とてもありがたいと思うと同時にうれしく、本当にいいなというふうにも感じました。校内のこともいろいろ出てきましたが、これらを後



で整理して、一つでも多く実現に向けて動きたいと思います。それが楽しい学校につながると信じて私も頑張りたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

(3) 諸連絡

(大玉中学校教頭)

- ・ 本日のアンケートの記入・提出について … 記入後机上にあげておいていただきたい。

(4) 閉会のことは

(おおたま学園CS委員会副会長 館下 愛理)

今日は授業参観から先生方疲れさまでした。これで、令和6年度大玉村立大玉中学校学校運営協議会並びに第4回おおたま学園CS委員会を終わります。お世話になりました。ありがとうございました。